

# 「高千穂郷」通信

平成17年2月号

(宮崎県西臼杵支庁)

NO.26



訓練を指導した県航空消防隊員  
(県航空消防隊は、県内各消防本部から派遣された消防士で組織されています。)



## 県防災救急ヘリコプター 「あおぞら」 西臼杵総合訓練



「あおぞら」の機能、装備の説明

本番さながらに行われた救急活動の訓練(「あおぞら」から救急車への搬送訓練)



着陸時に「あおぞら」から身を乗り出して、安全確認をする県航空消防隊員

本年2月1日から運用を開始した県防災救急ヘリコプター「あおぞら」を西臼杵に迎え、総合訓練が2月14日に五ヶ瀬町総合公園「Gパーク」で行われました。県航空消防隊員と西臼杵郡内の消防関係者等約70名が参加。

「あおぞら」は、宮崎空港から約35分でGパークに到着。県航空消防隊員から、機能や装備、注意事項の説明を受けた後、駐機状態や実際にローターを回した状態で救急活動、火災防御活動の訓練が行われました。

「あおぞら」の運行によって、「救急患者の搬送」、「山岳遭難における捜索・救助」、「林野火災の空中消火」など、安全体制が高まります。



水槽車から「あおぞら」に給水訓練後、離陸して、近くの山林に散水訓練を実施



### 宮崎県防災救急ヘリコプター 「あおぞら」の概要

機種名：ベル式412EP型ヘリコプター  
(米国製)

全長：17.1m

定員：15名(操縦席含む)

巡航速度：時速226km

(新幹線と同じくらいの速さ)

航続距離：好条件時に約700km



# 「南阿蘇と高千穂地域を結ぶ九州横断観光ルート」シンポジウム

「南阿蘇・高千穂地域観光交流協議会」（南阿蘇と西臼杵の町村、観光協会、県、交通機関等で組織）は、昨年十一月に実施した高森と高千穂の間を運行した無料周遊バスやモニターツアーを検証するため、シンポジウムを開催しました。（一月二十九日、熊本縣庁総合庁舎）  
国土交通省の「地域資源活用構想策定等支援調査事業」を活用して実施。約百名参加。

事業成果として、

- ・ 夢が叶って、県境を越えた観光の連携が実現した。利用者も多く、大成功であった。
- ・ この事業により、地域の魅力（宝）があることに気づいた。行動していきたい。（高度な技術を持っている人が沢山おり、体験型観光の素材がある等）
- ・ この事業を大きくしていくためには、地域の人達との協力体制が必要である。などが報告されました。



基調報告を行った石井勇五氏（五ヶ瀬町企画商工課長）

## （プログラム）

基調報告  
「南阿蘇・高千穂地域 秋色満喫ゆり旅」の報告  
石井 勇氏（五ヶ瀬町企画商工課長）

パネルディスカッション  
「南阿蘇・高千穂地域の魅力づくりを問う」  
パネラー  
坂本鈴香氏  
（九州産業交通 旅行事業部 インバウンド課）  
宮部博文氏  
（馬見原街づくり協議会事務局）  
坂元英俊氏  
（阿蘇地域振興デザインセンター事務局長）  
飯千金光氏  
（高千穂町商工観光課課長補佐）  
コーディネーター  
井手修身氏  
（リクルート九州観光振興プロデューサー）



パネルディスカッションでは、今回は、熊本からの参加者が多かった。「こんなところがあるなんて知らなかった」と近くに住んでいても、意外と行ったことがないということがわかった。観光の取り組みは、商店街、農村など、地域の暮らしにつながるような取り組みをしないといけない。連携のキーワードは、「南阿蘇と高千穂地域」が一つの地域となるような、一体としての取り組みが必要。などの意見が出されました。

## 福岡で観光、物産PR

宮崎県で福岡に一番近い西臼杵地域では、観光・物産のPRを時期を合わせて行いました。高千穂町観光協会の観光キャンペーンは、天神「ライオン広場」等で、高千穂郷地場産品展示会は、博多大丸地下2階で開催。

### 高千穂町観光協会観光キャンペーン(2/17 ~ 19)



福岡市天神のライオン広場で、「夜神楽」の公開を行い、多くの来場者がありました。



アンケートに答えた方を対象に、特産品が当たる福引きによる抽選会も実施し、大変好評でした。



「刈千切唄」の披露もありました。



博多全日空ホテルでは、マスコミを対象に「高千穂の夕べ」を実施。約200人参加。(2/18)

### 高千穂郷地場産品展示会(2/16 ~ 22)



西臼杵郡3町合同により、博多大丸地下2階で実施。管内から5社が出展。



釜炒茶、漬物、干椎茸等が展示販売され、多くのお客様で賑わいました。



## 肉用牛ヘルパー組合設立

県の「肉用牛ヘルパー組織支援対策事業」を活用し、高千穂地区農協肉用牛ヘルパー組合（立脇晴仁組合長、組合員110名）が、2月10日に設立され、今後の肉用牛生産基盤の維持・拡大に必要な仕組みが整備されました。

肉用牛ヘルパー制度は、牛の引き出し作業代行や飼養管理代行等により、「緊急時の対応」や「ゆとり確保」、「労力軽減」等を目的としています。

今後、具体的な作業内容や料金等が、JA各支所単位で決定され、活動が開始されますので、是非この制度を活用してください。

この制度の活動開始によって、更なる支援体制の輪が広がることが期待されます。



牛の引き出しや飼養管理を行うヘルパーの作業状況

## 鳥インフルエンザ防疫演習

昨年、我が国では79年ぶりに『高病原性鳥インフルエンザ』が山口県、大分県、京都府で発生しましたが、今回、本県での万が一の発生に備えて開催しました。

研修会では、延岡家畜保健衛生所から、鳥インフルエンザの概要や山口県での発生・防疫状況について、西臼杵支庁から、消毒ポイントの設置場所や運営方法等、管内での防疫体制の整備状況について報告がありました。

養鶏農家の皆さんは、日頃からの消毒や野鳥等が鶏舎に入らないような飼養管理を行う等、衛生対策を徹底していますが、万が一、発生した場合は、養鶏業のみならず、農業全般、ひいては観光業、物流等甚大な被害が予想されます。

愛玩鳥や少羽数飼養者の皆さんも日頃からの衛生対策をお願いします。

(お問い合わせ) 支庁農政水産課、各町畜産担当課、延岡家畜保健衛生所



管内の養鶏農家や関係機関30名が参加(2月18日 JA畜産部研修室)

## 「道の駅」の電光掲示板で全国野鳥保護のつどいPR

県では、安全で快適な旅行をしていただくことを目的に、「道の駅」に立ち寄ったドライバー等の方々に道路規制情報（平成17年4月以降運用）や観光・医療情報等を提供するため、屋外掲示板を設置しています。

今回、「道の駅高千穂」と「道の駅青雲橋」の電光掲示板において「全国野鳥保護のつどい」のPRを開始しました。



「道の駅高千穂」の電光掲示板

## 県公用車を「おたすけカー」に

最近、不審者による声かけなど子供たちが巻き込まれる事件が多く発生しています。

これらの事件に対応するとともに、発生を未然に防止するため、2月から県の公用車に「こども110番」のステッカーを貼って、「おたすけカー」制度を実施しています。



西臼杵支庁は公用車34台で実施しています。

## 構造改革特区・地域再生計画勉強会

西臼杵地域の活性化に向けて官民一体となって取り組もうと、商工会、観光協会、JA、森林組合、管内3町のほか各農林振興局から担当者36名が参加して、勉強会を開催しました。

両制度を所管する県総合政策課の岩切靖考主査、阿多裕二主任主事から、構造改革特区の最新の情報や今年4月から施行予定の「地域再生法」等の説明を聞いた後、質疑・意見交換を行いました。

構造改革特区、地域再生制度は、地域特性に応じた規制緩和を行ったり、地域経済の活性化や地域雇用の創出を目的としたものであり、地域が自発的に立案し地域づくりに取り組むための制度です。

今後、両制度を活用し、活性化を図るためみんなで知恵を出して取り組みましょう。



構造改革特区・地域再生計画勉強会(2月23日、国民宿舎「高千穂荘」)

## 平成 16年度宮崎県農産園芸特産物総合表彰式

2月16日

西臼杵管内から、果樹部門、茶部門、葉たばこ部門で入賞者が出ました。その中で、高千穂町上野の大賀政和さんが完熟きんかんで1等を受賞しました。



安藤知事と記念撮影。大賀政和さん（左から2人目）とかまいり製玉緑茶の部で2等を受賞した飯干克敏さんの父親の敏光さん（左から3人目）

## ～野鳥たちと、ともに歩んだ35年～

興相シモさん（高千穂町三田井在住）は、ケガ等をした野生鳥獣を保護し、自宅で治療やリハビリ等を行い、自然復帰させるというボランティアに35年程前から取り組んでいます。

フクロウやムクドリなど1年間に5羽から10羽程度を保護し、全てが自然復帰できませんが、これまで多くの野生鳥獣を自然に送り届けています。

興相さんは、これまでの取り組みに対し、平成14年度に野生生物保護功労者として「環境省自然環境局長賞」を受賞されています。



興相シモさんと保護した鳥

## 編集後記

西臼杵の周辺では、市町村合併が進んでいます。蘇陽町は2月11日に矢部町、清和村と合併し、山都町となりました。さらに、熊本県では阿蘇市、南阿蘇村が誕生し、大分県でも4月に竹田市、豊後大野市が誕生します。北方町も、来年2月に延岡市と北浦町と合併します。西臼杵郡については現在自立を選択し、広域行政の研究がなされています。今回、西臼杵と南阿蘇が県境を越えて連携し、観光の事業に取り組みました。今後のキーワードは「連携」だと思います。みんなで力を合わせ、地域振興に向けてあらゆる可能性を見い出しましょう。修

\* 西臼杵支庁の業務等について、ご意見、ご要望などがありましたら下記までご連絡ください。

## お問い合わせ先

宮崎県 西臼杵支庁 総務課  
TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760  
URL [http://www.pref.miyazaki.jp/contents/org/chiiki/shityoson/nishiusuki\\_shityo/index.html](http://www.pref.miyazaki.jp/contents/org/chiiki/shityoson/nishiusuki_shityo/index.html)

古紙配合率100%、白色度82%を使用しています。

## 匠の里づくりフォーラム

2月26日

日之影町では、地域にある様々な資源や強みを有効に活用した新しいまちづくりを図るため、その共通視点となる「一地区・一資源・一宝づくり構想」を進めています。

今回のフォーラムは、同町が県の「匠の里づくり支援事業」を活用して取り組んでいる新たなまちづくりの一環として開催されました。

今回初めて、「日之影の匠認定書」が、「日之影町竹工芸保存会」、「石垣の村」、「工藤慶素氏（神楽面製作）」に授与されました。

また、群馬県新治村の河合助役の基調講演に続いて、匠の里づくりについてパネルディスカッションが行われました。

(パネルディスカッション)

パネリスト

河合進氏

(群馬県新治村助役)

藤原誠氏

(日之影町竹工芸保存会)

川口道子氏

(鉱脈社専務取締役)

佐原正寛氏

(NHKみやざき文化センター)

コーディネーター

北本正孟氏

(カントリー代表取締役)



日之影町竹工芸保存会の藤原誠さんから、竹工芸の技術を応用して製作した「色紙の額縁」や「小物入れ」などの作品の紹介がされました。

## 西臼杵支庁だより

## 第20回神話の高千穂建国まつり

2月11日

高千穂町恒例の建国記念のお祭りに、西臼杵支庁の職員も「行政の神様」としてパレードに参加。高千穂町のメインストリートを練り歩きました。



新しい県総合長期計画、九州横断自動車道延岡線の整備促進、地産地消等をアピール。支庁職員、家族の20名参加



支庁林務課と県自然環境課の職員等は、「全国野鳥保護のついで」をPR